

登録コード	E2942400	開講年度	2026				
授業科目	異文化理解特殊演習					担当教員	山本 大貴
英文授業名	Advanced Seminar in Intercultural Understanding					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・6時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育N 2 2 8		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				優れた英語教員になるために、教育や文化等に関わるニュースに関心を持つこと、英語力や生徒と英語でコミュニケーションする力を向上させること、文化に関する知識や異文化への寛容性を身につけることの重要性を理解する。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育や異文化に関する幅広い教養、英語の授業を英語で行うのに必要な技能、教育改善のための研究を行う力を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本演習は、異文化理解・異文化コミュニケーションと英語教育に関する文献講読を通して諸概念や理論を学ぶとともに、専門領域に関する文献を理解する力、学術的な内容について英語で発表・議論する力、基本的な研究手法を身につけることをねらいとする。						
(5)授業計画	以下のテーマについて、学生の発表を基に、議論をします。 第1回：オリエンテーション 第2回：グローバル化と文化 第3回：異文化適応 第4回：文化相対主義 第5回：異文化間コミュニケーション：ヴァーバル・コミュニケーション 第6回：異文化間コミュニケーション：ノンヴァーバル・コミュニケーション 第7回：言語と文化 第8回：ジェンダーと文化 第9回：宗教と文化 第10回：教育と文化 第11回：英語の多様性 第12回：論文の構成 第13回：文献の引用方法 第14回：まとめ、授業アンケート *教育や文化に関する時事問題について議論する時間をとることがあります。 *教育実習等で欠席した場合、授業の録画を見て、課題に取り組んでください。必要があれば遠慮なく質問をしてください。						
(6)成績評価の方法	【達成目標 1 の評価】 個別面談での質問への回答（20％）… 授業で何を学びそれを今後どのように活かすかや、英語力・英語教員としての資質をさらに向上させるために、また優れた卒業論文を執筆するために今後何をすべきなのかを具体的かつ適切に考えられているか評価する。 【達成目標 2 の評価】 ・授業内容に関するレポート（20％）… 授業で学んだ教育、異文化理解、研究法等に関する理解度を評価する。 ・授業内での発表と発表に基づくレポート(60%)…異文化や教育等についての知識や考え方を理解し、英語で発表する力を評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：異文化理解・異文化コミュニケーションと英語教育に関わる概念や理論を正確に説明できる。 「かなり上である」：異文化理解・異文化コミュニケーションと英語教育に関わる概念や理論をほぼ正確に説明できる。 「やや上にある」：異文化理解・異文化コミュニケーションと英語教育に関わる概念や理論を適切に説明できるものがある。 「水準にある」：異文化理解・異文化コミュニケーションと英語教育に関わる概念や理論を説明できるものがある。						
(8)事前事後学習の内容	・英語教育や異文化に関するニュースの読解 ・授業で学んだこと、考えたことをまとめたレポートの作成 ・プレゼンテーションの準備 ・この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	本演習は、英語で授業を行うことがある。						

(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問や相談は大歓迎です。メールアドレス: yamamoto_hiroki@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	教科書は指定しない。
【参考文献】	授業内で随時紹介する。